

「いっそ」の共起状況と文類型

呉 珠 熙

1. はじめに

「いっそ」は副詞分類の観点からみるとモダリティ副詞に属するものである。モダリティ副詞の体系を提示している研究の中で、「いっそ」について言及しているものとして、工藤の一連の研究がある。工藤（1982、2000）では、従来の陳述副詞に相当するものを「叙法副詞」と呼び、考察を加えている。叙述副詞の体系は、次のように4つに分けられた文末モダリティ形式との共起関係に基づいて、整理されている（工藤2000：188）¹。

A 行為的な叙法（依頼、勧誘・申し出、願望・当為、意志など）

B 認識的な叙法（感嘆・発見、質問・疑念、断定、確信、推測、伝聞など）

C 条件的な叙法（仮定条件、原因・理由、譲歩など）

D 下位叙法（確認・同意、うちあけ、証拠だて、予想・予期など）

工藤（1982、2000）の叙法副詞の体系における個々の副詞の所属は、命令、推量などの文末モダリティ形式との共起関係に基づいており、それぞれの副詞がどのような環境に現れるのかを詳しく示している。しかしながら、「ぜひ、きっと、かならず」など、いくつかの副詞を除くと、各副詞の具体的な意味的・

¹ 工藤（2000）は、工藤（1982）を基に修正・加筆したものである。

構文的な特徴についての分析が十分なされていない。本稿の考察対象である「いっそ」についても「A行為的な叙法」の項目の中、「願望・当為」のモダリティ形式と共起する副詞として分類されているが、「いっそ」に対する具体的な説明はない。

ところで、「いっそ」は従属節の中で用いられる場合が少なくない²。用例を分析した結果、まず、継起、並列を表わす「テ」節や連用形に現れる場合は、主節の文末モダリティ形式が待ち望み系である（例(1)）。また、仮定条件を表わす「バ、タラ、ト、ナラ」節に現れる場合は、主節の文末モダリティ形式が判断系であることがわかった（例(2)）。つまり、従属節に現れる場合は、主節の文末モダリティ形式が必ず待ち望み系であるとはいえない。

- (1) そんなことを考えると、昨年の夏に日本で発行された二千札が、なかなか流通しないのも無理はないと思う。何しろ日本では対数きざみの貨幣は初めてなのだ。いっそのこと、二十円、二百円硬貨や二万円札も作って、徹底的にやればいいと思う。（朝日010311）
- (2) いっそ、「日本選手権」の名前をはずしてしまえば、もっと伸び伸びとした創造的ラグビーがみられるかも知れない。（朝日990301）

ここから、「いっそ」の共起関係は文末モダリティ形式というひとつの基準では記述しきれない、複雑なものであることがわかる。本稿は、用例分析を中心に単文や複文に現れる「いっそ」の共起状況を考察し、「いっそ」の文類型を明らかにする。

² 本稿で分析した「いっそ」の用例は全291例である。「いっそ」が従属節に現れる用例は、全291例中91例あった。他に一語文（14例）と省略・倒置（26例）が収集された。しかし、本稿は「いっそ」と文末モダリティ形式との共起関係の分析に重点をおいたものなので、これらの用例は考察の対象外とする。用例収集に用いた資料については資料一覧を参照されたい。

2. 先行研究

「いっそ」は、従来、日本人の思考方法・社会的通念と深いかわりを持つ表現として、文化論や心理言語学の分野で注目されてきたものである³。

渡辺 (1996) は、「言語というものが、人が対象に関してのべることの形式である以上、言語の表わす意義についても、述べる人、すなわち言語主体の側に属する意義の領域と、述べられる対象の側に属する意義の領域との双方にまたがるべき道理であろう。(中略) 一方の対象的意義とは、対象がそれであることに由来する意義のことで、たとえば「妻・家内…」の諸語を通して「或る男性にとって配偶者の関係にある女性」というのが対象的意義である。他方の主体的意義とは、対象に向かう言語主体の心に由来する意義のことで、その心の差が、同じ配偶者たる女性を「妻・家内…」の諸語で呼び分ける原因となる。

(中略) 日本語は、主体的意義に対してははなはだ温かく、主体的意義を表わす単語をはぐくみ育ててきた言語である、少なくとも英語や中国語などの良く知られた外国語に比べてそういう性質が目立つ」と述べている (渡辺1996: 124)。

そして、このように日本語が主体的意義に対して温かな言語であることが確認できる表現として「人称代名詞」「敬語」「評価の副詞」を取り上げ、英語、中国語などの外国語と比較しながら、各表現の特徴について説明している。また、このうち、日本語における主体的意義がもっともむき出しになるのは、「評価の副詞」の一群であると指摘している。

渡辺 (2001) は、渡辺 (1996) で「評価の副詞」として取り上げられた「せっかく、どうせ、いっそ、せめて」などを中心に、各語が表す「話者の複雑な気持ちや評価」について詳細に記述している。

「いっそ」については、次のような用例を挙げ、すべては「Qであるよりいっ

³ 板坂 (1971)、西原 (1987)、渡辺 (1996、2001) など。

そ(のこと)Pであるほうがよい」とモデル化できると述べている(渡辺2001: 57-59)⁴。

- (3) こんなに苦しい目をして生きているより、いっそ死んでしまいたい。
- (4) どうせ落第と決まっているなら、いっそ一流大学受験しない?
- (5) あまり天気がよいから、いっそ講義をやめてハイキングに行こうか。

渡辺(2001)は、個々の「評価の副詞」が表す主体的意義を中心に記述している。「いっそ」についても「評価的条件」に注目し、「Qには、(自分のことであれ他人のことであれ)好ましくない、と評価されている現在の状況を表わす表現が入る。Pには、Qのもつマイナスを一段と(場合によっては極端にまで)拡大したマイナス事態でありながら、かえってその中にQにはないプラス要素が見出せる、と評価される事態を表わす表現が入る」と説明している。このように「内部にプラス要素を希望的に見ているとは言っても、明らかに「Q」以上にひどい「P」を選ぶ、というのは、思考の飛躍と言うべき」であり、この飛躍が「いっそ」独特の表現価値であると指摘している(渡辺2001: 63)。そして、「いっそ」とは「現状を好ましくない」と否定し、現状にはない好ましい事態が手に入ると期待して現状より一段と悪い状態に身を置こうかと、思考を飛躍させるときに使う」表現であると結論付けている(渡辺2001: 68)。

渡辺(2001)で明らかにした「いっそ」の「評価的条件」は、本稿の「いっそ」の用例分析において大いに参考になる。しかし、本稿では、先行研究で注

⁴ 渡辺(2001)は、「いっそ」の関連表現として「いっそのこと」を取り上げ、「いっそのことPであるほうがよい」とモデル化できると述べているが、「P」と「Q」における評価的条件が「いっそ」と同じであることから「QであるよりいっそPであるほうがよい」に含まれるものとしている。筆者が収集した「いっそ」の全291例の中、「いっそのこと」の用例は37例あった。用例を分析した結果、「いっそのこと」は共起関係やその意味解釈において「いっそ」と差が見られなかった。したがって、本稿でも「いっそのこと」の用例を「いっそ」に含め、分析を行うことにする。

目されてきた「評価的特徴」を踏まえ、「いっそ」の「統語的特徴」を明らかにすることを目的とする。具体的には、「いっそ」と文末モダリティ形式との共起制限、そして、従属節での出現状況という統語的特徴を中心に考察を行い、「いっそ」の文類型の設定を試みる。文類型の設定においては、渡辺(2001)のモデル化を援用し、「現在の状況Q」と「当該事態P」との関係を中心に考察を行う。

3. 単文における「いっそ」の共起状況と文類型

3.1 共起状況⁵

「いっそ」が単文に用いられる場合、当為(例(6))、意志(例(7))、勧誘(例(8))、願望(例(9))、命令(例(10))など、事態実現を期待する話者の心的態度を表す待ち望み系の文末モダリティ形式と共起する⁶。

- (6) ロンドン中心部の商店街オックスフォード通りの歩道に、早く歩く人のための「追い越し車線」を設ける案が浮上している。のんびり歩いたり、立ち止まったりする買い物客のせいで混雑が一層ひどくなっているため。だが、「いっそ歩行者天国にすべきだ」という声もあり、実現には曲折がありそうだ。(朝日001226)
- (7) 手作りの製本が趣味だったので、事例が40人分を超えたところで小冊子をつくり20部ほど友人たちに配って読んでもらった。「50代の人たちが読めば、大いに参考になる」との意見が出た。実は、現役時代は、辞める社員に第2の人生に向け、相談に乗る部署も経験していたため、それも本づくりに生きた。退職から5年目を迎え、区切りにしたいので、いっそ自費出版しよ

⁵ 単文には、複文の主節に現れる「いっそ」の用例も含まれている。

⁶ 本稿では、仁田(1991)の分類に従い、文末モダリティ形式を判断系と待ち望み系に二大別し、さらに下位分類を行った。

うと思い立った。(朝日020119)

- (8) 2・1の「私の成人式楽しみなくさないで」の岡野亜由美さんへ。成人式で異常な事態が多発するなら、僕はいっそ中止すればいいと思っていました。

(朝日020208)

- (9) 「このまま苦しい治療を続けてもよくならないのなら、いっそ娘や孫たちの待つブラジルへ帰りたい」(朝日980808)

- (10) わたしが美術学校以外の、高等専門学校などへ行かなかった理由は、これも父親が、行ってもどうせ学徒動員で戦争にとられてしまうか、工場などで働かされたりするのだから、いっそのこと家にいると言ったためです。(エディ)

そして、次のように「いっそ」は推量、断定のような判断系の文末モダリティ形式とは共起できないことがわかる。

- (6) *いっそ歩行者天国に {した／するだろう}。

- (9) *いっそ娘や孫たちの待つブラジルへ {帰った／帰るだろう}。

以上から、工藤(1982、2000)などの先行研究で指摘されてきたように、「いっそ」は単文の場合、事態実現を期待する話者の心的態度を表す待ち望み系の文末モダリティ形式と共起するものであることが確認できる。しかし、「いっそ」の共起関係をより詳しく分析してみると、待ち望み系の文末モダリティ形式の中で共起制限が見られる。

「いっそ」と共起する待ち望み系の文末モダリティ形式の中、用例数が最も多かったものとして勧誘を表す文末形式「～ば／たらいい」が挙げられる⁷。しかし、勧誘を表す文末形式「～ば／たらいい」の類義表現である「～といい」

⁷ 単文に現れる「いっそ」の用例、全200例中52例(26%)

と共に起る用例が収集できなかったし、次のように共に起が難しいという制限がある。

(8)' 成人式で異常な事態が多発するなら、僕はいっそ中止 {すればいい/??する
るといい} と思っていました。

(11) 日本では大テーブルいっぱい料理が並ぶから、ついそちらに気を取られる。深井さんは主催者側になった時、「会を盛り上げるには、いっそ料理を出さなければいいのでは」と提案した。(朝日010728)

(11)' ??会を盛り上げるには、いっそ料理を出さないといいのでは。

次節では、このように、待ち望み系の文末モダリティ形式の中で見られる「いっそ」の共に起制限について考察を行い、その結果を踏まえ、単文における「いっそ」の文類型を設定する。

3.2 単文における「いっそ」の文類型

高梨(2002)は、従来「価値判断」「当為判断」と呼ばれてきたモダリティ形式をより広く捉え、「評価的複語形式」として考察を行っている。「評価的複語形式」とは、「Pと／ば／たらいい」のように当該事態(P)を受ける接続形式と「いい」などの評価形式が複合したものである⁸。「Pと／ば／たらいい」については、共通的に「当該事態Pの成立が望ましい」という評価を表すものであるが、「といい」の基本的意味は、「当該事態を単純に望ましいものとして評価する」ことであり、「ば／たらいい」⁹の基本的意味は「当該事態をある特

⁸ 評価的複合形式には、他にも「Pでもいい」「Pなくてもいい」「Pではいけない」「Pなくてはいけない」のような形式が挙げられている。「評価的複語形式」は、共通的に当該事態が制御可能な場合は「当為判断」を表し、当該事態が未実現で行為者が聞き手であれば、働きかけとなると述べている。「Pと／ば／たらいい」の場合は、「勧誘」の働きかけ表現になる(高梨2002:117)。

⁹ 便宜上、以下では「ばいい」を代表形として記述する。

定のよい結果を得るための必要十分な手立てとして評価する」ことであるという違いがあると述べている¹⁰。従って、次の(12)が当該事態「替え玉をやる」を単純に望ましいものとして提出する文脈であるために「といい」のみが適切であると説明している（高梨2002：97-98）。

(12) 「博多のバーのママが観光客にむかって」

「長崎へ行ったら、絶対に替え玉っていうのをやるといいわよ」

(12') 絶対に替え玉っていうのを {??やればいい／??やったらいい} わよ。

高梨（2002）の説明を援用し、上記の例(8)'、(11)、(11)' を分析すると、当該事態¹¹「中止する」「料理を出さない」は、各々「成人式で異常な事態が多発する」「会が盛り上がらない」という好ましく現状を改善するための方策として提示されるものであることがわかる。従って、「いっそ」は当該事態の実現を単純に望ましいと評価する「といい」の形式と共起が難しいのであろう。このような共起制限は、渡辺（2001）で指摘された「いっそ」の「評価的条件」が統語的に反映された結果であると考えられる。

以上から、「いっそ」は当該事態を単純に望ましいものとして評価するものではなく、まず、好ましくない現状が存在し、その現状を改善させる方策として当該事態を取り上げ、その実現を望ましいと評価するものといえる。つまり、「いっそ」の当該事態に対する評価には、改善するべき好ましくない現状の存在が前提されているといえる。

次のように、単文の場合、改善するべき現状（下線部分）は先行文に存在することが多い。したがって、「いっそ」は単文レベルではなく、連文レベルでの解釈が必要であるといえる。

¹⁰ 本文中の下線は筆者のものである。以下、同様。

¹¹ 「いっそ」の評価対象になる後続する文の叙述内容を本稿では「当該事態」と呼ぶことにする。

- (13) 汗ばむような陽気の日、ガラス戸を開けてアルミサッシの網戸にしてみた
ら、網の古さが目立った。いっそ張り替えようか。(朝日980503)
- (14) もう、スーパーでも使える。早速財布に入ればしたもの、私はなぜか使
いたくなくなっていた。い�そのこと、お守りにしてしまおうか……。(朝
日980609)

また、複文の場合は、主に従属節の内容に改善すべき現状(下線部分)が述べられ、主文には「いっそ」と共に当該事態(P)がその改善策として述べられるのである¹²。

- (15) 携帯電話や携帯端末を持ち運ぶなら、い�そコンピューターを着てしま
う。そんな発想でつくられた次世代システムがウェアラブルコンピューターだ。(朝日010413)
- (16) 「このまま苦しい治療を続けてもよくならないのなら、い�そ娘や孫たち
の待つブラジルへ帰りたい」(朝日980808)(=例(9))

以上の考察をまとめ、単文における「い�そ」の文類型を文末モダリティ形式との共起関係や当該事態(P)と現在の状況(Q)との関係を中心に表してみると次のようである。(I)は連文の場合、(II)は複文の場合である¹³。

(I) Qである。い�そPすればいい。(例(13)(14))

(II) Qなら、い�そPすればいい。(例(15)(16))

¹² 複文の主節に現れる「い�そ」の用例の場合、従属節には、「バ節(8例)」「タラ節(3例)」「ト節(1例)」「ナラ節(34例)」「カラ節(7例)」「ノデ節(3例)」「シ節(4例)」があった。

¹³ 本稿では、用例の数が最も多かった「～ばいい」を待ち望み系の文末モダリティ形式の代表例、「～なら」に従属節の形式の代表例として文類型に用いる。

Q：現在の状況¹⁴

P：当該事態

4. 従属節における「いっそ」の共起状況と文類型

「いっそ」が複文の従属節に現れる用例を分類してみると、まず、継起、並列を表わす「テ形・連用形」の従属節と「バ、タラ、ト、ナラ」などの条件節が多く見られる。これらの従属節は南（1993）のB類の従属節である。しかしながら、B類の従属節に現れる「いっそ」の用例は主節の文末モダリティ形式が判断系であるか待ち望み系であるかによって、2つのグループに分けられる。また、並列を表す「シ節」と逆接を表す「ノニ、ガ」節の用例が1例ずつあった。本稿では、便宜上、「いっそ」が継起、並列を表わす「テ形・連用形」の従属節に現れる場合をAタイプ、「バ、タラ、ト、ナラ」などの条件節に現れる場合をBタイプ、並列を表す「シ節」と逆接を表す「ノニ、ガ」節に現れる場合をCタイプと命名し、考察を行うことにする¹⁵。

4.1 Aタイプ（テ形、連用形の従属節）

「いっそ」が継起、並列を表わす「テ形・連用形」の従属節に現れる場合、主節の文末モダリティ形式は待ち望み系である。

- (17) 制度いじりの背景には、医者¹⁶の私欲が医療費を増大させているとの考えもあるようだ。ならばいっそ、すべての医療機関を国営にして、医者¹⁷の給与も診療内容と関係なしに一定にしたらどうか。その方が、医者¹⁸の質も医療の質

¹⁴ 現在の状況（Q）は、言外の知識として存在する場合もある（渡辺2001：63）。

¹⁵ 複文の従属節に現れる「いっそ」の全91例の中、「テ形・連用形（37例）」「バ節（23例）」「タラ節（11例）」「ト節（8例）」「ナラ節（9例）」「シ節（1例）」「ノニ節（1例）」「ガ節（1例）」があった。

も今より向上するだろうと思うのだが。(朝日010722)

- (18) 関谷は恐怖の反動のように、闘志を燃やした。いっそ犯人が現れ、肉弾戦になった方がいい。見えない相手と闘うのはかえって恐ろしかった。(新橋)
- (19) 営利企業の株保有原則禁止を受けて、弘済会は今年三月までに、コーサイ印刷の株をすべて売却した。資本関係が切れたことから、い�そのこと会社を解散させ、業務や社員を弘済会に吸収させてしまおうという動きもあるという。(朝日980629)

「テ形・連用形」の従属節の場合は、「い�そ」は従属節と主節をあわせた叙述内容 ([] の部分) に対して望ましいと評価し、その実現を期待していることを表していると解釈できる。従って、主節は待ち望み系の文末モダリティ形式に限られるし、次のように認識系の文末モダリティ形式は来られないという共起制限がある。

- (17)' *い�そ、[すべての医療機関を国営にして、医者給与も診療内容と関係なしに一定にし] |た／するだろう|。
- (18)' *い�そ [犯人が現れ、肉弾戦になった] だろう。
- (19)' *い�そのこと [会社を解散させ、業務や社員を弘済会に吸収させてしま] |た／するだろう|。

4.2 Bタイプ(「バ、タラ、ト、ナラ」などの条件節)

「い�そ」が条件節に現れる場合、主節の文末には判断系モダリティ形式に限られる¹⁶。

¹⁶ 「ト」「バ」の条件節は主節のモダリティ形式が待ち望み系の場合、現れにくい、「タラ」「ナラ」の条件節はこのような制約がない(日本語記述文法研究会編2008:100)。したがって、「い�そ」が条件節に現れる場合、主節のモダリティ形式が判断系に限られるという共起制限は、「い�そ」の生起によるものと考えられる。

- (20) 働く女性には、「103万円」と「130万円」の壁がある。年収が103万円を超えると夫の配偶者控除から外れて所得税がかかり、さらに130万円を超えると社会保険料も払わなければならない。いっそ夫とは別個に、個人単位の税制や社会保障制度にすれば、女性の社会進出が一層促されるかもしれない。

(朝日010622)

- (21) イスラエル政府は12日、パレスチナ自治政府を相手にしないことを決めた。テロ対策を自らの手で進めるという決断だ。自治を推進し、和平交渉を進めるというオスロ合意の枠組みの否定につながる。(中略) いっそ占領の終結も自ら一方的に進めるなら、交渉相手の一方的な無視が和平プロセスの否定に終わらずにすむだろう。(朝日011214)

- (22) 幼少のころから青年期まで、実に20年近く続いた母と私たち子供への暴力。だれも助けてくれなかった。いっそ家族で殺してしまうことができたらどんなに楽になるだろうと思ったこともあった。(朝日010703)

3.2節で「いっそ」は現在の状況(Q)の改善策として当該事態(P)を取り上げ、その実現を望ましいと評価するものであると述べた。従って、文末には事態実現を期待する待ち望み系のモダリティ形式だけが用いられるという共起制限がある。そして、改善するべき現状(Q)は主に先行文や複文の従属節に表現されることを確認した(例(13)~(16))。条件節に現れる「いっそ」の例(20)を再挙して分析すると、単文の場合と同じく、先行文脈に改善するべき現状(下線部分)が述べられている。また、現状の改善策として実現が期待される事態(〔 〕部分)は、従属節に述べられている。そして、主節には従属節で仮定した事態が実現された場合に起こると推測される事態(波線部分)が述べられている。

- (20) 働く女性には、「103万円」と「130万円」の壁がある。年収が103万円を超えると夫の配偶者控除から外れて所得税がかかり、さらに130万円を超え

ると社会保険料も払わなければならない。いっそ〔夫とは別個に、個人単位の税制や社会保障制度にす〕れば、女性の社会進出が一層促されるかもしれない。(朝日010622)

「いっそ」の当該事態（P）は実現が期待されるもの、すなわち、未実現の事態であるため、従属節に現れる場合、従属節の内容が仮定的である条件節と共起する。「いっそ」の当該事態（P）が未実現の事態であることは、次のように従属節の内容が確定的である理由節には「いっそ」が現れないという共起制限からより明らかになる¹⁷。

(20)' ??いっそ夫とは別個に、個人単位の税制や社会保障制度にする |ので/から| 女性の社会進出が一層促されるかもしれない。

(21)' ??いっそ占領の終結も自ら一方的に進める |ので/から| 交渉相手の一方的な無視が和平プロセスの否定に終わらずにすむだろう。

(22)' ??いっそ家族で殺してしまうことができた |ので/から| 楽になるだろう

また、「いっそ」が条件節に現れる場合、主節には従属節で仮定した事態が実現された場合に起こると推測される事態が述べられるため、判断系の文末モ

¹⁷ 渡辺（2001）に同様の指摘がある。渡辺（2001）は次の四つ通りの条件法について「いっそ」が展開させるのは、「順接仮定」だけであると述べている。

いっそ死んでしまったら…（順接仮定）

×いっそ死んでしまうから…（順接確定）

×いっそ死んでしまっても…（逆接仮定）

×いっそ死んでしまったが…（逆接確定）

その理由として、「いっそ」の「P」は、現状「Q」にないプラスを期待して、話者が思い描く、「Q」よりひどい事態なので、「P」が実現しているはずがない。したがって、確定の「だから」「だが」は展開が不可能である。そして、プラスを期待しているので、「Pであっても」と話をマイナスに導く逆接も不可能であると説明している（渡辺、2001：66）。

ダリティ形式が用いられるといえよう¹⁸。

以上の考察から「いっそ」は「バ、タラ、ト、ナラ」などの条件節に現れる場合、従属節と主節の両方において共起制限があるといえる。

4.3 Cタイプ（「シ節」と「ノニ、ガ」節）

「いっそ」が並列を表す「シ節」と逆接を表す「ノニ、ガ」節に現れる場合、従属節内の述語がすべて待ち望み系のモダリティ形式である。ここから、「いっそ」と当該事態（P）は並列を表す「シ節」と逆接を表す「ノニ、ガ」節内に埋め込まれ、主節の叙述内容や文末モダリティ形式とは関係していないと解釈できる。また、主節の文末モダリティ形式は、判断系（例23(25)）と待ち望み系（例24）の両方が見られる。

- (23) 院長は常々時計の遅れるのを好まず、あからさまに渋面を作った。しかしそれが進んでいるときはべつに文句を言わず、そればかりか相好をくずして、「ああ、うちの時計は十五分進んでいるな」と、ほとんど愉快そうに言うのだった。そのくらいならいっそ一時間も二時間も進ませたらよかったろうが、それでは時計の役目を果さないというものである。（楡家）
- (24) 「こちら死体処理屋ですが、火葬にしましょうか、土葬がよいですか。それとも、いっそミイラにしてもよいし、なんなら生きたままセメント漬けしてもよいのですが」（若き）
- (25) でも、その「普通」が何かわからない。結局、人それぞれなんだろうから、いっそ普通なんて言葉はなくてもいいのに、私たちは「同じ」「普通」、そんな言葉をもっている。本能的に求めているのかな、と思う。だれかと同じであることを見つけると、うれしくなる。本当に同じであることなんかないのに。何で、こんな言葉ができたんだろう？（朝日020409）

¹⁸ 「いっそ」が条件節に現れる場合、主節の文末モダリティ形式には「だろう（18例）」「かもしれない（25例）」「に違いない（8例）」があった。

4.4 「いっそ」と文の段階性

本節では、従属節に現れる「いっそ」の共起状況をまとめ、文の段階性における「いっそ」の位置づけについて考察する。まず、4.1節～4.3節の考察結果をまとめると次のようである。

【表1】

| | 従属節の形式 | 当該事態 | 主節のモダリティ形式 | | 従属節の述語のモダリティ形式 | |
|------|------------------------|--------|------------|-------|----------------|-------|
| | | | 判断系 | 待ち望み系 | 判断系 | 待ち望み系 |
| Aタイプ | 継起、並列を表わす「テ形・連用形」 | 従属節+主節 | × | ○ | × | × |
| Bタイプ | 「バ、タラ、ト、ナラ」などの条件節 | 従属節 | ○ | × | × | × |
| Cタイプ | 並列を表す「シ節」と逆接を表す「ノニ、ガ」節 | 従属節 | ○ | ○ | × | ○ |

Aタイプの継起、並列を表わす「テ形・連用形」、Bタイプの「バ、タラ、ト、ナラ」などの条件節、Cタイプの逆接を表す「ノニ」節は、南（1974）の従属節の四段階から分類するとB類に分類されるものである。つまり、南（1974）のB類の従属節は、「いっそ」が現れる場合、主節の文末モダリティ形式との共起関係からAタイプ、Bタイプ、Cタイプの三つに分けられるのである。南（1974）のB類の従属節に見られる「いっそ」の共起状況の差異は、加藤（1995）の分析を適用するとより明らかになる。

加藤（1995）は南（1974）が提示した四段階の従属節について、下位分類を行った研究である。加藤（1995）は、南（1974）を基礎とするが、従属節内だけでなく主節も考察の対象にいれ、主節末のモダリティのスコープを、従属度を測定する指標としている¹⁹。具体的には次のように主節の文末モダリティ

¹⁹ 南（1974）では、接続節の複文を主に従属節の内部に収まる文法的カテゴリーの種類とその量を調べることによって、従属節の主節に対する依存度の高低の観点からA類、B類、C類、D類の四つに分けている。

のスコープに従属節が入る構造を「 α 構造」(例26)、入らない構造を「 β 構造」(例27)とし、「 α 構造」になることが多い従属節をⅠ類、「 β 構造」になることが多い従属節をⅢ類、中間的な従属節をⅡ類としている。

(26) [資料を読みながら話を聞k] i なさい。

(27) ほくは行かないが、[君は行k] e。(加藤1995:23)

そして、この分類を南(1974)と対照させると、次のように南のB類の従属節は三つに分けられることになる(加藤1995:31)。

【表2】

| | 加藤(1995) | 南(1974) |
|--|----------|---------|
| ナガラ1(継続)、ツツ、連用形反復、テ1(付帯状況)、連用形1(形容詞・形容動詞) | Ⅰ類 | A類 |
| ト/バ(恒常条件)、ナイデ、ズ(ズニ)、テ2(継続・並列)、連用形2(継続・並列)、ナガラ2(逆接) | | B類 |
| タラ/ト(時)、バ/タラ/ナラ(仮定条件)、テモ | Ⅱ類 | |
| テ3(理由)、連用形3(理由)、バ/タラ/ナラ(慣用表現)、ノデ、ノニ、 | Ⅲ類 | C類 |
| ガ/ケレドモ(逆接・前置き)、テ4(並列)、シ(理由・並列)、カラ | | |

加藤(1995)に分類に基づけば、本稿のAタイプは主節から独立度が弱いⅠ類、Bタイプは中間的なⅡ類、Cタイプは主節から独立度が高いⅢ類の従属節である。

「いっそ」が主節から独立度が弱いⅠ類の従属節に現れるAタイプの場合、「いっそ」が実現を期待する当該事態(P)は、従属節はもちろん主節の叙述内容を含めたものである。したがって、主節のモダリティ形式が待ち望み系に限られるという共起制限がある。ここから、「いっそ」はⅠ類の従属節に入れないものであるといえる。

また、「いっそ」が主節から独立度が中間的なⅡ類の従属節に現れるBタイ

プの場合、未実現事態である当該事態（P）が従属節で述べられているため、従属節の内容が仮定的である条件節に限られること、そして、主節のモダリティ形式も判断系に限られるという共起制限がある。このように従属節の形式はもちろん、主節のモダリティ形式とも共起制限を持つことから「いっそ」はⅡ類の従属節にも入れないものといえる。

そして、「いっそ」が主節から独立度が高いⅢ類の従属節に現れるCタイプの場合、従属節内の述語がすべて待ち望み系のモダリティ形式である。ここから「いっそ」は従属節の内容に埋め込まれ、主節の叙述内容やモダリティ形式とは関係していないものと解釈できる。したがって、「いっそ」はⅢ類の従属節に入るものであるといえる。

以上から、「いっそ」は文の段階性の観点からみると加藤（1995）のⅢ類の従属節に入るものであると考えられる²⁰。

4.5 従属節における「いっそ」の文類型

「いっそ」が従属節に現れる場合、当該事態や主節の文末モダリティ形式との関係からAタイプ（例(17)）、Bタイプ（例(20)）、Cタイプ（例(23)）の三つのタイプがある。そして、加藤（1995）の分類によるとAタイプは主節から独立度が弱いⅠ類、Bタイプは中間的なⅡ類、Cタイプは主節から独立度が高いⅢ類の従属節である。各タイプの用例を再挙し、当該事態（〔 〕の部分）と従属節の形式（□部分）、そして、「いっそ」と共起制限を持つモダリティ形式（二重下線部分）を明記すると次のようである。

- (17) 制度いじりの背景には、医者¹の私欲²が医療費を増大させているとの考えもあるようだ。ならばいっそ、[すべての医療機関を国営にし]て、医者³の給

²⁰ 従属節の場合、従属節の形式のすべてを検討したものではなく、今回、収集した「いっそ」の用例に見られた形式だけに限ったものである。従属節における共起関係についてはさらに多くの用例を検討する必要がある。

与も診療内容と関係なしに一定にし] たらどうか。その方が、医者²¹の質も医療の質も今より向上するだろうと思うのだが。(朝日010722)

- (20) 働く女性には、「103万円」と「130万円」の壁がある。年収が103万円を超えると夫の配偶者控除から外れて所得税がかかり、さらに130万円を超えると社会保険料も払わなければならない。いっそ〔夫とは別個に、個人単位の税制や社会保障制度にす〕れば、女性の社会進出が一層促されるかもしれない。(朝日010622)

- (23) 院長は常々時計の遅れるのを好まず、あからさまに洗面を作った。しかしそれが進んでいるときはべつに文句を言わず、そればかりか相好をくずして、「ああ、うちの時計は十五分進んでいるな」と、ほとんど愉快そうに言うのだった。そのくらいならいっそ〔一時間も二時間も進ませ〕たらよかつたろうが、それでは時計の役目を果さないというものである。(楡家)

まず、AタイプとCタイプを当該事態(P)と主節や従属節内のモダリティ形式との関係を中心に表してみると次のようである²¹。

Aタイプ: Qである。いっそPすればいい。(例(17))

Cタイプ: Qである。いっそPすればいいが、……。 (例(23))

Q: 現在の状況

P: 当該事態

Aタイプの場合は、当該事態(P)が従属節と主節の叙述内容であり、主節

²¹ AタイプとCタイプの従属節の場合、当該事態(P)と主節のモダリティ形式を中心に考察を行い、現在の状況(Q)については言及していない。しかし、単文の場合と同様、「いっそ」の当該事態に対する評価の前提として先行文脈、または、言外の知識として存在するものとして文類型の中に位置づけることにする。

の文末モダリティ形式は待ち望み系である。したがって、単文の場合の文類型「いっそPすればいい」に含まれるものであるといえよう。そして、Cタイプの場合は、単文の文類型「いっそPすればいい」が従属節内に埋め込まれたものであるといえる。したがって、AタイプとCタイプの場合、「いっそ」の文類型は、単文の文類型と同類であるといえる。

次に、Bタイプを当該事態(P)と主節のモダリティ形式との関係を中心に表してみると以下のようである²²。

Bタイプ: Qである。いっそPすれば、Rだろう。(例(20))

Q: 現在の状況

P: 当該事態

R: 当該事態が実現した場合に起こると推測される事態。

Bタイプの場合は、未実現事態である当該事態(P)が従属節に現れるため、従属節の内容が仮定的である条件節に限られること、そして、主節のモダリティ形式も判断系に限られるという共起制限がある。このように、従属節と主節の両方に共起制限があることから「いっそPすれば、Rだろう」という文類型が設定される。これは、単文の文類型「いっそPすればいい」とは異なるものといえよう²³。

²² 「いっそ」が条件節に現れる場合、主節の文末モダリティ形式には「だろう(18例)」「かもしれない(25例)」「に違いない(8例)」の推量、蓋然の表現だけが見られた。本稿では、「だろう」を主節の文末モダリティ形式の代表例として文類型に用いる。

²³ 渡辺(2001)では、「いっそ」が順接仮定の条件法に展開するモデルとして「いっそPであったらよかったのに」を挙げているが、「QであるよりいっそPであるほうがよい」のメンバーであるとしている(渡辺2001:67)。渡辺(2001)の「いっそPであったらよかったのに」のモデルは、必要を表す評価のモダリティ形式が望ましい行為が行われなかった時、後悔、不満の意味になる場合に相当するものと考えられる。

本稿では、単文における「いっそ」の文類型「いっそPすればいい」に加え、Bタイプの文類型「いっそPすれば、Rだろう」を従属節における「いっそ」の文類型として設定する。

5. まとめ

本稿では、従来、日本人の思考方法・社会的通念と深いかわりを持つ表現として注目されてきた「いっそ」を取り上げ、単文や複文における共起状況という統語的特徴を中心に考察を行った。特に、従属節に現れる「いっそ」の用例を詳細に分析し、「いっそ」は従属節と主節の両方に共起制限を持っていることから、単文の場合とは異なる文類型が設定できることを指摘した。また、文の段階性の観点からみると「いっそ」は加藤（1995）のⅢ類の従属節に入るものであることを明らかにした。

最後に、「いっそ」の文類型を文末モダリティ形式との共起関係や当該事態（P）と現在の状況（Q）との関係を中心に表してみると次のようである。（Ⅰ）は単文に現れる場合、（Ⅱ）は複文の主節に現れる場合、（Ⅲ）は複文の従属節に現れる場合である。

- （Ⅰ） Qである。いっそPすればいい。
- （Ⅱ） Qなら、いっそPすればいい。
- （Ⅲ） Qである。いっそPすれば、Rだろう。

Q：現在の状況

P：当該事態

R：当該事態が実現した場合に起こると推測される事態。

参考文献

- 板坂 元(1970)「いっそ・どうせ」『国文学解釈と鑑賞』7月至文堂 pp.165-170
_____(1971)『日本人の論理構造』講談社新書
- 加藤陽子(1995)「複文の従属性に関する考察—主節のモダリティを中心として—」
Working Papers Vol. 6 International University of Japan pp.21-37
- 工藤 浩(1982)「叙法副詞の意味と機能—その記述方法をもとめて—」国立国語
研究所『研究報告集3』秀英出版 pp.45-92
_____(2000)「副詞と文の陳述的なタイプ」『日本語の文法3 モダリティ』岩波
書店 pp.163-234
- 高梨信乃(1995)「スルトイイとスレバイイとシタライイ—条件接続形式による評
価的合表現①—」宮島達夫・仁田義雄編『日本語類義表現の文法(上) 単文編』
くろしお出版 pp.235-243
_____(2002)「叙述のモダリティ」宮崎和人・安達太郎・野田春美・高梨信乃
編『モダリティ：新日本語文法選書4』くろしお出版 pp.79-171
- 西原鈴子(1987)「話し手の価値判断—その含意性と異言語への伝達の問題—」『研
究報告集8』国立国語研究所 秀英出版 pp.125-157
_____(1991)「副詞の意味機能」『日本語教師指導参考書19副詞の意味と用法』
国立国語研究所 大蔵省出版局 pp.47-80
- 仁田義雄(1991)『日本語のモダリティと人称』くろしお出版
- 日本語記述文法研究会編(2008)『現代日本語文法6 第11部複文』くろしお出版
- 南不二男(1974)『現代日本語の構造』大修館書店
_____(1993)『現代日本語文法の輪郭』大修館書店
- 森田良行(1977)『基礎日本語Ⅰ—意味と使い方—』角川書店
_____(1980)『基礎日本語Ⅱ—意味と使い方—』角川書店
- 森田良行・松木正恵(1989)『NAFL 選書5 日本語表現文型—用例中心・複合辞の
意味と用法—』アルク
- 渡辺 実(1996)『日本語概説』岩波書店
_____(2001)『さすが! 日本語』筑摩書房

資料一覧

〈新聞〉朝日新聞社説' 98-' 02

〈シナリオ〉

「土曜ドラマ館」(ラジオ): FM 福岡土曜日 12:30-12:55 放送、' 97.10-'
00.4

【BAN IS BAN FOR SCRIPT】(<http://www.plala.or.jp/ban/profile.html>)

〈小説〉CD-ROM 版 新潮文庫の100冊 1995 新潮社

用例出典

(朝日××××××): 朝日新聞(社説)、年、月、日

(エディ): 新潮文庫100冊 CD-ROM 版『エディブスの恋人』(筒井康隆、1970)

(若き): 新潮文庫100冊 CD-ROM 版『若き数学者のアメリカ』(藤原正彦、1970)

(新橋): 新潮文庫100冊 CD-ROM 版『新橋烏森口青春篇』(椎名誠、1980)

(楡家): 新潮文庫100冊 CD-ROM 版『楡家の人びと』(北杜夫、1954)